

今週の大阪・関西万博 **週報** (7/23～7/29)
 ～ 開催まであと**257**日です! ～



1. 海外パビリオンの状況

□ 7/24 (水)、フィリピンが、先週の本国での発表会に続き、大阪市内でパビリオンのコンセプト発表会を実施。伝統工芸品である織物を用いて、フィリピンの人々の多様性や人とのつながりを表現。パビリオン外観は、籐細工を模したデザイン。外壁には200点を超える手織物を展示。



【出展】左：博覧会協会提供

右：https://www.facebook.com/bieparis/?locale=ja_JP



【現在の参加国等の状況】 (7月25日現在)

- ・ 161 各国・9 国際機関が参加表明済み。
- うち、公式参加契約締結国数：119 各国・4 国際機関

うち、

- ・ 各国独自パビリオン (タイプA (47 各国)、タイプX (5 各国))：52 各国

※ タイプA 国 47 各国のうち、

- ・ 施工事業者が決まった国：43 各国
- ・ 着工済みの国：37 各国

- ・ 協会が用意する単独館 (タイプB)：17 各国

- ・ 協会が用意する共同館 (タイプC)：92 各国

2. 今週・先週の主な活動

- 7/24（水）、博覧会協会は万博 ID の本人確認について、より簡単に認証が行えるメールによるワンタイムパスワード認証方式（以下、本認証方式）を追加。本認証方式は、万博 ID に登録したメールアドレスにワンタイムパスワードが送られてくるため、万博 ID を登録するためのスマートフォン等への事前設定は不要。スマートフォン等の操作が得意でない方は、この新しい方法を利用いただくと簡単に万博 ID を登録することができる。



【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240724-01/>



- 7/26（金）、大阪・関西万博を通じて地域活性化を目指す「万博首長連合」（会長：澤井宏文 大阪府松原市長）が万博会場を視察。メンバーとなっている全国津々浦々の664自治体のうち、約100の市町村長らが参加。大屋根リングに実際に登り、建設中のパビリオンを視察。その後、藤井寺市にある道明寺天満宮に場所を移して、約20か国の万博参加国の大使・総領事らとの国際交流会を実施。自見万博担当大臣、テーマ館プロデューサーの中島さち子氏も参加。



【出典】万博首長連合公式 X

自見はなこ国際博覧会担当大臣と南河内6市長
左から、吉村善美富田林市長、島田智明川内長野市長、
岡田一樹藤井寺市長、澤井宏文松原市長、
山入端創羽曳野市長、古川照人大阪狭山市長



□ 7/27（土）、岩手県北上市において、テーマ館パビリオン「いのち動的平衡館」をプロデュースする生物学者の福岡伸一氏による『いのちのつながり』をテーマにした読書会を開催。自見万博担当大臣も参加し、地元の高校生とともに絵本を朗読。参加者はいのちや自然の大切さを学び、万博への理解も深めた。



福岡プロデューサー作の「ホテルの光がつなぐもの」の読書会



福岡伸一プロデューサーによる万博紹介

□ 7/28（日）、シグネチャーパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」をプロデュースする中島さち子氏が「いのちを考える会」を立ち上げ、大阪府吹田市の国立民族学博物館にて、第一回のトークセッションを開催。石黒浩プロデューサーからも登壇し、「いのちとは何か」「万博とは何か」などについて議論を深めた。



【出典】 https://www.expo2025.or.jp/overview/expo_pll_talks/posts/no_0112/

- 7/26（金）、竹中工務店は、未来社会ショーケース事業の一環として「森になる建築」を協賛する旨を発表。「森になる建築」は、生分解性を有し、光を透過する酢酸セルロースを構造材に、各種イベントで用いる手すきの和紙や植物を外装材に使用。「使い終われば森になる」という未来の建築の姿を提案。会場内の休憩所として活用。



【出典】 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240726-03/>

- 7/26（金）、大阪・関西万博 公式キャラクター「ミヤクミヤク」と読売テレビのキャラクター「シノビー」とのコラボレーション商品を発売開始。コンビ名「シノミヤク」で漫才にも挑戦中。（シノビー公式 YouTube チャンネル「シノビーの、おへや。」で配信）



【出典】 <https://expo2025mlo.jp/news/531>
<https://www.youtube.com/watch?v=CBX74zSRjFk>

- 7/29（金）、経済産業省にて大阪・関西万博予算執行監視委員会の第4回会合を開催。博覧会協会及び経済産業省から、会場建設費におけるタイプXの転用や大屋根リングのリユースに係る費用、運営費におけるチケットの販売促進策について説明し、委員間で討議が行われた。（数日以内に議事概要を公表予定）

3. 今週の予定

- 7/31（水） タイプBパビリオン モザンビークへ引き渡し
- 8/5（月）、8/6（火） 学校関係者向け説明会

4. チケット販売の状況

- ◇ チケット販売枚数 : 356万1,635枚（2024年7月24日現在）